

2026. 7. 17(金)

令和8年度 1学期終業式 式辞

こんにちは。今日で1学期が終了します。年度当初、私は皆さんに「目標と目的をしっかりともち」、学習や探究活動に取り組んでほしいことと「与論にルーツがあることに誇りを持って」学校行事などの活動に取り組んでほしいということを話したと思いますが、この1学期いかがでしたでしょうか。

ここで、与論のことわざをひとつ紹介します。

「思(む)いどう 運命(ぬさり)、請(ふい)どう 幸運(うぶん)」

意味は、「思い願うことがその人の運命となり、請い願うことがその人の幸運につながる」という意味です。「自分はこうしたい、このようになりたい」と常に夢や目標を思い描くと共に、その夢や目標を唱え、そしてその夢や目標に見合うだけの計画を立て、努力を続けるならば、必ずその目標は実現できるという教えです。

この教えで大事なポイントは、「強い思いをもつこと」と「諦めず努力を続けること」です。

まず「強い思いをもつこと」については

夢実現や目標達成するためには、ただ願うだけではだめで、自分の夢や目標を常に唱えて自分の脳に言い聞かせるぐらい夢や目標を実現したい、成し遂げたいという強い思いをもつことが大切であるということです。

次に、「諦めず努力を続けること」については

夢実現や目標達成について「強い思い」をもちながら、今何ができるかを考えること、夢実現、目標達成のための計画を立て、諦めず努力を重ねること、つまり、毎日の地道な準備や行動を続けるという努力が大切だということです。

同じように、「本当に成し遂げたいと強く思い、一生懸命に努力を重ねてこそ、自ずと道が開け、目標が達成される」という意味が込められた言葉で「念ずれば花開く」という言葉があります。この言葉は有名な実業家の稲盛和夫さんや野球界で有名な野村克也さんが座右の銘として大切にしていた言葉だそうです。また、「念」という漢字は二つの漢字「今」と「心」から成り立っていて、「念ずる」とは、今、この瞬間に心を込めて目の前のことを一生懸命に取り組むという意味があるそうです。

与論の先人たちは、このようなことを、この小さな与論の地で生き方の知恵として、独自に親から子へ、地域の大人から子どもたちへと語りついできたのだと思うと、あらためて与論の先人たちのすごさを感じます。そして、先人たちの考え方、生き方を考えることは、与論の歴史、文化、自然環境、課題解決について探求することと同じ

ように、みなさんが「ルーツに誇りをもつ」ことに繋がると信じています。

今日は、ここまで、「強い思いをもち、今できることに心を込めて一生懸命努力を続ける事の大切さに」ついて話をしましたが、注意しておいてほしいことがあります。確かに努力することは目標達成のためには不可欠なことではありますが、努力すれば、いつでも必ず目標が達成できるという事ではありません。特に、勝負事の世界や高い目標を設定した場合には、現実としては達成できない場合もあります。目標を達成するための条件、努力した時間、努力によって開発できた能力、周囲の環境などが整った段階で達成できることがあるということ、つまり、運も必要であることを知っておくことです。今、行われているサッカーのワールドカップにおいて日本代表は、優勝を目標にして臨みましたが、結果は決勝トーナメント 1 回戦ベスト 32 でブラジルに惜敗しました。この時点において、サッカー日本代表の目標は達成できませんでした。ですが、サッカー日本代表がこの 4 年から 8 年間同じ監督の下、努力を重ね成長し、実力をつけてきたことは、疑いのない事実です。今年のワールドカップでは結果だけを見ると現時点では「失敗」と言われてしまうかもしれませんが、選手たちは、目標は達成できなかったが、自分たちに足りないもの、今後同じ目標の達成に向けてやるべきことがわかったと言っていました。日本サッカー界にとって悲願であるワールドカップ優勝への挑戦はまだまだ続いています。そういう意味では、まだ、途中段階であり「失敗」ではありません。このように、万一、精一杯努力しているにもかかわらず、結果として目標が達成できなかった場合に、自分の努力不足であったと必要以上に自分を責めすぎないようにしてください。その時点では、結果としては「失敗」と思ってしまうかもしれませんが、野球界の名監督であった野村克也さんによれば、「失敗」と書いて「成長」と読むのだそうです。ですからその時は、努力を継続できた自分に自信をもちつつ、その後どうするか、目標を設定し直し別な道を目指すか、引き続き同じ目標に向かって頑張るかを決め、自分が「成長」できるチャンスがきたと考え、先へ進むことを考えるようにしましょう。自分の進むべき方向を決める分岐点の一つにたどり着いたと考えることでよいのではないのでしょうか。

さて、来週からは、夏季課外があるとはいえ、夏休みに入ります。3 年生は三者面談も計画されています。進学、就職、どちらに進むにしてもこの夏は大事な夏になりますので、自分の進路目標に対する現在の立ち位置などしっかりと確認し、目標達成に向かって計画を立てましょう。そして、目標達成に向けてはひたすら頑張ることばかりでなく、時にはリラックスして心を整えることも忘れずに、緊張とリラックスのバランスを上手にとり、メリハリをつけて取り組んでください。2 年生、1 年生は、夏休みは普段とは違った時間の使い方ができると思います。今後の進路選択に活かせるように、いろんな事にチャレンジしてください。

「思(む)いどう 運命(ぬさり)、請(ふい)どう 幸運(うぶん)」

皆さんが充実した夏休みを過ごし、更に成長した皆さんに 2 学期の始業式で会えることと、皆さんの更なる成長を期待しつつ、式辞といたします。